

## 8-1-10 広報事業専門委員会

### 1. 主な活動の記録

中期行動計画（2014～2018）で広報事業専門委員会が担務する施策1-2 “1-11 魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進”に沿って、平成29年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

#### (1) 広報事業専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8、3月は休催）

#### (2) 学生懸賞論文および建コンフォト大賞の募集・表彰

学生懸賞論文および一般対象の「第9回建コンフォト大賞」、中・高校生対象の「第5回建コンフォト大賞Jr.」を実施した。審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページ（以下、HP）に掲載した。

#### (3) 建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報活動

7月29日から1週間、首都高川口PA休憩施設内で、今回で5回目となる第8回建コンフォト大賞入賞作品による展示会を開催した。また、学生への直接的広報の機会として、11月3日（金）に日本大学理工学部祭で開催された「CivilExpo 2017」



首都高川口PAでの写真展の様子

にて、これまでの東京ミッドタウン展示会で使用した大型銀塩写真アルミパネルの中から選抜した作品6点を用いた展示会開催と協会パンフ及びカレンダーの配布を戴いた。さらに、支部開催のイベントへの入賞作品パネルの貸出、協会HPの建コンフォト大賞ページの作品ギャラリーおよび建コンフォト大賞Jr. 応募作品モザイクアートの更新をした。

#### (4) その他

各号発刊毎に協会誌のモニタリングを行い、意見を会誌編集専門委員会へフィードバックした。また、広報戦略委員会の要請により協会カレンダー製作に伴う作品画像データの収集と提供、「建設コンサルタント白書」のグラビア原稿作成を実施した。さらに、会誌編集専門委員会にて来年度発刊予定の書籍「土木遺産VI」の企画、編纂、発刊準備支援を行った。



2017年版モザイクアート

### 【学生懸賞論文および建コンフォト大賞の審査結果】

#### a) 懸賞論文（学生論文）

### テーマ（2つより選択）

①「2050年の進化した社会を実現する『夢の土木プロジェクト』」

②「5年以内に着手すべき土木施設の改善提案」

応募結果 総数：20編

#### 審査結果

優秀賞：1編（5月協会総会にて表彰を予定）

「「持続可能な都市と農業の両立に向けて」～土木施設として捉えた農地の改善～」

鹿嶋 康平氏

（長岡技術科学大学大学院工学研究科環境社会基盤工学専攻）

特別賞：2編

「完全自動運転車を活用した空間の魅力化と高質化」

高柳 誠也氏

（東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻）

「撤退可能都市プロジェクト」 間野 喬博氏

（長岡技術科学大学大学院工学研究科環境社会基盤工学専攻）

#### b) (一般の部) 第9回建コンフォト大賞

テーマ「あなたのお気に入りの“土木施設”」

応募結果 総数：390点

#### 審査委員

委員長：宇於崎 勝也（日本大学教授）

審査委員：知野 泰明（日本大学准教授）

八馬 智（千葉工業大学准教授）

初芝 成應（日本写真作家協会会員）

野崎 秀則（広報戦略委員長）

審査結果（5月協会総会にて表彰を予定）

最優秀賞：1点（竹端 正伸氏）

優秀賞：2点（藤元 麻未氏、浦崎 正江氏）

特別賞：10点



「大自然とともに」  
竹端 正伸



「草の集合住宅」  
藤元 麻未



「放水」  
浦崎 正江

#### c) (中・高生の部) 第5回建コンフォト大賞Jr.

テーマ「“土木施設”を探せ！」

応募結果 総数：164点

審査委員 宇於崎 勝也（一般の部審査委員長）

広報事業専門委員会 委員（11名）

#### 審査結果

Jr. 最優秀賞：1点（芝谷 開氏）

Jr. 優秀賞：2点（千貫 杏介氏、牛田 葵氏）

Jr. 特別賞：10点

### 2. 次年度の活動について

中期行動計画（2014～2018）施策1-2「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」の施策に沿って、学生懸賞論文・建コンフォト大賞募集・表彰、建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 米岡 威）